

ホウ酸塩処理と長寿命住宅

「第 12 回かごしま木材まつり」の関連講習会として、10 月 28 日「ホウ酸塩処理木材」についての講習会がありました。ホウ酸塩処理木材については既報、149 号 (H20.12)、153 号 (H21.4) でご紹介しましたが、利点は ①人体や動物には害がない。②浸透性が高く、時間と共に芯部まで薬剤が浸透し、半永久的に薬効が続く。③シロアリやキクイムシ、木材腐朽菌等、木材劣化生物に有効である。④無色無臭である。⑤金属を腐食しない。等あげられます。一方、難点は水や土に触れると溶出するので、外部での使用は注意が必要である、ということです。また、現行の建築基準法では、木部処理は地上 1M を防腐処理するが、この薬剤は 5 年ほどしか薬効が続かないが、5 年後に再処理することはなく、さらに使われている薬剤に胎児毒性があり、胎芽の器官形成期に影響があるとして、米国妊娠協会が発表しているそうです。ニュージーランドやオーストラリア、アメリカ等では住宅丸ごとホウ酸塩処理することが多いそうです。日本では今年 9 月、ホウ素系表面処理剤として認定されました。(昨年は JIS K1571-2010 で認定を取得)

今後、使用量が増えることが予想されます。

森林・林業・林産業活性化九州大会が開催されました !

先月 25 日宮崎市で林活議連九州大会が開かれました。これは、林業に関心を持った各県の議員と林業関係者で林業活性化のための活動で、毎年各県持ち回りで行われています。はじめに、林野庁長官の挨拶で「森林整備加速化・林業再生事業の延長」が閣議決定されたとの報告がありました。次に、東京大学の井上先生の「地球温暖化対策が牽引する木材利用促進政策」という基調講演があり、CO₂削減には木材の有効利用こそが大事であり、自然保護活動の間違いを正していく必要がある「例えば割り箸 1 膳からティッシュ 2 枚しか出来ない。ティッシュと割り箸とどちらが環境に悪影響を与えているか考えるべきだ…等」。最後に諸塚村の産直住宅推進室事務局長の矢房氏の「森作りが地域を守り、地球を守る」という事例発表がありました。

【情報】

鹿児島相互信用金庫講演会が開催されます

日時 11 月 18 日 (金) 15:30~17:00

場所 城山観光ホテル・飛天の間

講師 佐々木 則夫 氏 (なでしこジャパン監督)

演題 佐々木流 組織マネジメント

【定休日】

11 月は 3, 6, 12, 14, 19, 20, 23, 27 日となります

12 月は 4, 10, 11, 18, 25, 29, 30, 31 日となります

宜しくお願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

